

道徳だより

栃木市立西方小学校
平成28年度
No. 4

西方地区3校は、道徳の時間のよりよい授業を目指して、それぞれの学校で研究を推進し、合同で研修をする機会を設けています。1月は西方小学校3年2組と5年2組で道徳の時間の研究授業を行いました。その後、3校の先生方と栃木市教育委員会の指導主事の先生方と共に授業研究会を行いました。その授業様子を紹介いたします。

【1月の研究授業の様子】

3学年 「思いやる心を伝えよう」

価値項目 親切・思いやり

資料 「心の信号機」

授業内容

この資料には、目が不自由でなかなか横断できない方とこの方を助けようとする気持ちがあるのだが、躊躇して行動に移せない主人公のぼくが登場する。勇気を出して、困った人を助けるぼくに共感させ、「思い」だけでなく、「行動」として表す大切さを考えさせました。



挿し絵を使い、主人公の心情の変化を捉えていきました。



躊躇しているぼくの心情を3人組で話し合っています。教師も寄り添って児童の支援をしています。

5学年 「自分の役割を自覚しよう」

価値項目 愛校心

資料 「バトンをつなげ」

授業内容

この資料には、6年生を送る会を控えた5年生の運営委員である本間さんが登場する。6年生の助けを受けて送る会を運営した本間さん達はバトンの意味が分かったような気がしたという内容である。5年生のがんばりに共感させ、自分の問題として、バトンをつなぐことの意味を考えさせました。



資料から、本間さんが、バトンの意味を何だと思ったのか考えています。



これまでの自分をふり振り返り、これから自分はどうしていきたいか考え、グループで意見を伝え合いました。